



食べて、遊んで、楽しんで 秋の菊陽を満喫



楽しく防災を学び体験する

秋の風物詩

すぎなみフェスタ2024

11月9日、菊陽杉並木公園スポーツ広場で、すぎなみフェスタ2024を開催しました。同イベントのPR大使であるもっこすファィヤーによるオープニングからスタート。ステージでは、町内保育園などの園児が元気に演技を披露したり、くまモンが登場したりと、会場を盛り上げました。

毎年大人気のにんじん詰め放題のブースやにんじん釣りに加え、今年は、釣りに大会に加え、今年、にんじんの重さ当てイベントを実施。多くの来場者が参加し、「もう少しかな?」「惜しい!」と真剣に取り組む姿が見られました。

イベントを締めくくる抽選会では、MCのMEGさんが読み上げる番号が、豪華景品を受け取った人は、うれしそうに持ち帰っていました。



1_大きな竿を使ってにんじんを釣り上げた子どもたち
2_親子で協力して袋いっぱいのにんじんを詰める
3_かき氷を楽しむ親子 4_くまモンのステージではキャロッピーとのコラボも見どころ 5_抽選会で見事1等選ばれた来場者 6_堂々と竹太鼓の演奏を披露した三里木保育園の園児 7_野菜に関するクイズや楽しい体験コーナーを開催した尚絅大学の学生



10月6日、菊陽杉並木公園スポーツ広場と総合体育館で、きくよう防災フェスタ2024を開催しました。パトカーやヘリコプターなどの災害時に活躍する装備品展示や防災気象実験、消火体験などを通して、来場者は実際に体験しながら防災について学びました。

また、ステージでは、総合MCの安井政史さんやSDGs応援アイドル「Earth Ace-KUM」、タモンズ、くまモンが登場し、会場を盛り上げました。

イベントの最後には、町消防団と熊本セントラル病院のDMATが連携し、救出救助活動のスペシャリストである明石市消防局職員の指導を受けながら、倒壊家屋からの人員救出訓練を行いました。床をのこぎりで切ったり、被災者のけがの応急処置をしたりと、実際の災害現場さながらの緊張感あふれる状況に、大人も子どもも息を飲んで見守りました。



1_減災ソリューションズ開発の訓練モジュールを使って、倒壊した家屋の下にもぐり被災者を救出する 2_空高く伸びた消防車のはしごを見つめる来場者 3_水滴が浮く実験に興味津津 4_パトカーに乗ってうれしそうな親子 5_水の入った消火器で的を狙う 6_自衛隊装備品の内部を見学する来場者